



様式第1号 (第5条、第7条関係)

事業者取組計画書

平成29年07月20日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取県 鳥取市 南栄町 70番地2

氏名 日立フェライト電子株式会社
代表取締役社長 古川 博幸
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第1項 (第8条第4項、第9条第1項、第9条第3項) の規定により次のとおり提出します。

| | | | | | |
|-------------------|--|--|-------------------------------------|----------------|--------|
| 住所 (主たる事業所の所在地) | 鳥取県 鳥取市 南栄町 70番地2 | | | | |
| 氏名 (名称及び代表者の氏名) | 日立フェライト電子株式会社 代表取締役社長 古川 博幸 | | | | |
| 主たる業種 | 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | | | | |
| 該当する事業者要件 | <input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者 | | | | |
| 計画期間 | 平成29年04月 ~ 平成32年03月 | | | | |
| 温室効果ガスの排出量等 | 排出区分 | 基準年度 (実績) (28) 年度 (二酸化炭素換算) | 目標年度 (計画) (31) 年度 (二酸化炭素換算) | 増減率 | |
| | 排出量 (1) | 12,399.1 t | 14,260 t | 15.0 % | |
| | 目標設定の考え方 | 今年度新規大型設備の設置が計画されており、新しい生産ラインが平成30年度より稼働する見込みとなっている。大幅なエネルギー消費増が見込まれるが、省エネを推進して基準年度に対して15%以内の変動にとどめることを計画する。 | | | |
| 原単位当たりの温室効果ガス排出量等 | 用途区分 | 原単位の指標 | 基準年度 (実績) | 目標年度 (計画) | 増減率 |
| | 本社工場 | 二酸化炭素換算 | 3.26 t-CO2/百万円 | 3.75 t-CO2/百万円 | 15.0 % |
| | | 二酸化炭素換算 | | | % |
| | | 二酸化炭素換算 | | | % |
| 原単位の目標設定の考え方 | 平成30年度より新しい生産ラインの稼働が始まる見込みとなりますが、省エネを推進して基準年度の15%以内の変動に抑制したい。 | | | | |
| 寄与的取組 | 取組区分 | 目標年度 (計画) | | | |
| | | 実数値 | 二酸化炭素換算の削減量 | | |
| | 再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給 | (売電量) | kWh | t | |
| | | (熱供給量) | GJ | t | |
| | 再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入 | (購入量) | | t | |
| | 森林保全による二酸化炭素の吸収量を表すものの購入 | - | - | t | |
| | 電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入 | (購入量) | | t | |
| 削減量等合計 (2) | 0.0 t | | | | |

| | | | | |
|--------------------|---|-----------|------------------------------|----------|
| 差引排出量 (1) - (2) | 基準年度 (実績) | | 目標年度 (計画) | 増減率 (計画) |
| | 12,399.1 t | | 14,260.0 t | 15.0 % |
| 推進体制 | 当社では環境最高責任者 (代表取締役社長)、環境管理責任者 (管理グループ長)、各部門長・部門推進責任者及び専門委員会・専門監査チームで組織される環境管理組織を設置しており、環境計画の策定及び見直し、実施状況の点検・評価を実施している。 | | | |
| 年度ごとの具体的な取組及び措置の計画 | 年度 | 設備、対象、工程等 | 内容 | |
| | 平成29年度 | 工場 | 水銀灯・蛍光灯のLED化推進 (200台更新を計画) | |
| | 平成29年度 | 工場 | ゾーニングによる適切な空調・照明効率向上 | |
| | 平成30年 | 工場 | 敷地内外灯 (ナトリウム灯) を全てLED化 (48台) | |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県主催「自転車通勤チャレンジ2017」へ参加した ・グリーンカーテンを設置し、CO2削減と空調温度管理を推進する。 ・工場節電運動としてクールビズ (28℃)、ウォームビズ (20度) に取り組んでいる。 | | | |
| 特記事項 | | | | |

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

- 2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。
- 3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。
- 4 主たる業種には、統計法 (平成19年法律第53号) 第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。
- 5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
- 6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標 (生産数量、延べ床面積、走行距離等) を記入してください。
- 7 「特記事項」には、平成2年度 (1990年度) を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用などを記入してください。